



なみえ創成小学校・中学校の今を伝える なみえ創成通信

学校の基本理念 子どもたちの生きる力と夢を育み、地域の未来を切り拓く学校



ふるさと創造学サミット

12月5日

双葉郡8町村の小・中学生、高校生が地域を題材にした探究的な学習の成果を発表する「第7回ふるさと創造学サミット」が、オンラインで開催されました。

小学生は「浪江町の新たな一歩・～漁業の復興を通して～」、中学生は「なみえ、について知ろう・学ぼう・発信しよう」をテーマに、自作の資料や写真、クイズなどで、伝え方を工夫しながら自分たちの思いを力強く発信することができました。



地域交流活動

12月11日

生花店を経営する福塚裕美子さん（川内村在住）を講師に迎え、中学生がフラワーアレンジメント作品を作成しました。この日は、総合的な学習の時間や体験活動などでお世話になった地域の皆さんを招き、学習の成果を発表した後、作成したフラワーアレンジメント作品を贈り、感謝の気持ちを伝えました。

これからも様々な取組を通して地域の皆さんとの交流を続けていきたいと思えます。



もちつき交流会

12月23日

毎年恒例のもちつき交流会（「チームなみえG&B」主催）を行いました。今回は「新型コロナウイルス感染症」対策のため、もちつき体験は小学校1・2年生を対象に実施。ついたもちは、児童・生徒全員でおいしく食べました。また、会食の後にオンラインによるミニコンサート（「JAST（一般社団法人日本ソーシャルセラピストアカデミー）」主催）を視聴しました。楽しい交流会になりました。皆さん、ありがとうございました。

なみえ創成小学校・中学校ブログ

なみえ創成

検索

☎ なみえ創成小学校 ☎ 0240(23)5335 ☎ なみえ創成中学校 ☎ 0240(23)5336

子育て広場

任せてみましょう「お手伝い」

乳幼児期の子供には、身近な人の動作や言葉の「まねをしたい」欲求があり、家事をする親の姿を見ると「やりたいやりたい」と手伝いたがります。模倣をすることは「人から学ぶ」ことの基本です。また、手伝いを通して「親が子供を信頼して任せる」という関係が作られ、親子のきずなにもつながります。



1. 子供の発達や興味に合う「お手伝い」を任せましょう

大人にとっては「この程度なら簡単かな」と思えるものも、子供にとっては難しく意欲がわかないこともあります。手始めに、子供が既にできていること、もう少しでできそうなことから、「子供に任せる」「お願いする」をしてみましょう。

2. 「お手伝い」のときに、タイミングよく温かい言葉と笑顔を

はじめは「上手ね」「できたね」「えらいね」「すごいね」などと褒め、できていることを一緒に喜びましょう。続けることができたなら、「いつもありがとう」「うれしいな」「助かっているよ」などと感謝の言葉を伝えると、子供は、信頼され認められたと感じ、「うれしい経験」となります。できることが増えた喜びは、子供の誇りや自信、意欲を育てることにつながります。

☎ 浪江にじいろこども園 ☎ 0240(25)8619